

科学研究費補助金（若手研究（S））研究進捗評価

課題番号	19676004	研究期間	平成19年度～平成23年度
研究課題名	既存耐震実験施設の有機的連携による防災技術向上策の開発	研究代表者 (所属・職)	高橋 良和（京都大学・防災研究所・准教授）

【平成22年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
	A+ 当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A 当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	B 当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C 当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <p>E-ディフェンスの振動台による実験を実施できたことにより、当初の目標を達成するための課題を成し遂げるとともに、今後の展開に必要なデータも集積している。これまでのところ、順調に研究が進展していると考えられる。今後の研究では、当初の研究目的である「大型実験と中小型実験の有機的連携」、「分散マルチスケールハイブリッド実験手法の開発」を完結させるべく集約して取り組むことが望まれる。</p> <p>表題に防災技術向上策と書かれているように、社会の人々はより耐震性の高い土木構造物を望んでいる。最終破壊状況を明らかにすることも重要であるが、このような状況に至らないための方策を提案して欲しい。</p>	